



保護者の皆様へ

## 自分事と他者意識



長い間、中学生を見てきましたが、17、8年くらい前から「あれ？変わったな。」と思っていることがあります。それが今回のテーマ「自分事」と「他者意識」です。

### 1. 自分事として考えよう・・・って言いますよね

#### 自分事 1

近所で火事が起こりました。「真っ先に火を消しに行く人」、「火事だ、火事だと騒いでいるだけの人」、「（自分の家が燃えているわけではないので）知らん顔の人」がいますね。ここで自分事として考えて、「火事はみんなで消しに行きましょう！」という話なのですが、「火事」を「いじめ」に置き換えて「いじめは、みんなで消しに行きましょう！」とすると、より中学生にとって身近かもしれません。

#### 自分事 2

SNS の使い方について、教頭先生から話がありました。ネット上のトラブルについては、何度も話をしてきましたが、安易に SNS 上に個人情報（からかいや悪口を含む）をあげてしまう人が後を絶ちません。

東南海地震への備えについて考えてみてください。ヒトは、被害やトラブルの可能性を甘く見たり、目をつむったりして、「自分は大丈夫。」と考えがちなのです。



#### 自分事 3

そして、1番言いたいコトです。「自分は悪く思われたくない。」「自分は責任を取りたくない。」という思いが強くなった結果、「自分は悪くない。」「自分のせいではない。」と考えることが増えた気がするのです。つまり、自分事として考えるのではなく「自分以外の誰かのせい」として、犯人探しが始まる傾向が強くなった・・・と思うのです。いかがですか？



### 2. 他人の気持ちになって考えよう・・・って言いますよね

#### 他者意識 1

人がすぐ近くにいるのに、バットやラケットを振る。隣の子が困っていることに気づかない。小学校低学年の子のように、まっすぐ前しか見えず、非常に視野が狭くなっているように思います。周囲の情報

が入ってきにくい（感知しない）のか、それとも、集中しすぎて見えないのか……。

### 他者意識 2

授業では、発表する、説明するといった機会が多くあります。自分の思いや考えが相手に伝わるかどうかが大変になります。ここで他者（相手）を意識して、声を大きくする、ゆっくり話す、紙やタブレットが見えるように持つ……といった工夫のできる人がいます。反対に、早口でくちゃくちゃと話して、急いで終わらそうとする人もいます。相手が理解したかどうかは、関係ありません。



思春期は、自分意識が強くなります。日本は、『恥の文化』と言われるのですが、「恥ずかしい」という感情は大切です。でも、相手のために思って自分の行動を調節するのは、思いやりだと思うのです。

### 他者意識 3

そして、1番言いたいコトです。相手がどう思っているのだろう……と想像する時、相手の思いを考えているようで、実は、相手は（自分のことを）どう思っているのだろう……と、結局、自分のことしか考えていないことはありませんか？相手の気持ちを考えると、相手にとって心地良いことを考えることで、良好な関係を築くために行います。（それが、幸せになる秘訣でしたね。）相手にとって自分がどのように見えているかを考え始めると、よほどの楽道家でない限り、どんどん悪い方に考えがちになります。

## 3. 対話とは、合意形成である。

日本人は、長い間「察する（空気を読む）」ことを得意としてきました。それは、国民全体が同じような生活をし、同じような価値観を持っていたからです。しかし、今は違います。それぞれの家庭で暮らし方や価値観が違います。そこで育った皆さんは、それぞれ違った考え方をします。昔は、いい車に乗っていることがステータス（社会的地位、夢）でした。しかし、今は、もっと他のところにお金を使おうと思っている人はたくさんいます。まさに、多様性です。相手の気持ちがわからない。相手は自分と考えが違う。そんなことは、当たり前です。だから、対話が必要なのです。



## 保護者の皆様へ

### ■ 学校公開日

**12月14日（水）～16日（金） 1限目～3限目 9：00～11：50**

\* 14日は箏の授業（1, 2年） 15日には食育の授業（全学年）が行われます。

### ■ 学校自己評価アンケート

\* 三者懇の時に、お子さんのタブレットを使って実施します。ご協力をお願いします。

- ① マスクの着用、玄関にて手指の消毒をお願いします。
- ② スリッパ等、上履きをご持参ください。
- ③ 廊下はとても寒いです。あたたかい格好でお越しください。

